

# 深セン市を「中国の特色ある社会主義先行モデルエリア」に指定 デジタル通貨の研究を支援

**中国国務院は8月9日、「深センの中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見」（以下、意見）を発表した。深セン市を21世紀中ごろまでにイノベーションと法治、文化、民生、環境保護などの面で国際的に手本となる都市に発展させる。**

意見では、「深セン市は魅力、エネルギー、活力、イノベーション力に満ちた国際的なイノベーション型都市に成長を遂げた」と評価しつつ、「中国の特色ある社会主義先行モデルエリア」となることで、さらに高いレベルの改革开放を進めることができるとした。また、広東・香港・マカオグレートベイエリア（粵港澳大湾区）戦略を通じ、「一国二制度」

事業の発展を豊かにする新たな実践にも役立つとした。

モデルエリアの戦略的位置付けとして（1）全国トップレベルの質の高い発展、（2）法治都市のモデル、（3）都市文明の模範、（4）幸福な民生の手本、（5）持続的発展の先駆けが示され、2025年、2035年、21世紀中ごろまでに達成すべき目標が掲げられた（表1、2参照）。

表1 深センの中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見の戦略的位置づけ

1	質の高い発展の高地	・ サプライサイドの構造改革を深化し、創新駆動発展戦略（イノベーションに基づく発展戦略）を実施し、現代化された経済システムを構築し、質の高い発展システム・メカニズムの構築において全国上位となる。
2	法治都市のモデル	・ 全面的に法治レベルを向上し、法律により政府と市場の境界のルールを定め、安定、公平、透明で予見性のある、国際的に一流の法治化されたビジネス環境を構築する。
3	都市文明の模範	・ 社会主義核心的価値観を実践し、レベルの高い公共文化サービスシステムと現代的文化産業システムを構築し、新たな時代の旗を掲げ、民心を集め、新人を育て、文化を興し、イメージを展開するリーダーとなる。
4	幸福な生活の見本	・ 質の高いバランスのとれた公共サービスシステムを構築し、全面的で持続可能な社会保障システムを構築し、幼児・児童をよく育て、学生をよく教え、労働には厚く報い、病人は良い医療を受け、老人は養われ、住居は住みよく、弱者は皆で支える社会を実現する。
5	持続的発展の先駆け	・ 優れた自然環境こそが財産という理念を堅固として樹立・実践し、安全で効率の高い生産空間、快適で住みよい生活空間、水と空気が澄んだ生態空間を構築し、「美しい湾区」建設のトップとして、国際連合の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に中国の経験を提供する。

（出所）深センの中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見の戦略的位置づけ

表2 「深センの中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見」のタイムスケジュール

時期	内容
2025年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の実力、発展の質をグローバルトップレベルにする。</li> <li>・研究開発支出比率、産業イノベーション能力を世界トップクラスとする。</li> <li>・文化・ソフトパワーを大幅に向上させる。</li> <li>・公共サービスのレベルと生態環境の質を国際トップレベルとする。</li> <li>・現代的国際的イノベーション型都市を構築する。</li> </ul>
2035年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い発展を全国の模範モデルとし、都市総合経済競争力を世界トップクラスとする。</li> <li>・グローバルに影響力を有するイノベーション・創業・クリエイティブ都市とし、中国の社会主義現代化強国建設の都市モデルとなる。</li> </ul>
21世紀中頃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の先進都市の林に屹立し、競争力、イノベーション力、影響力の卓越したグローバルな手本となる都市とする。</li> </ul>

(出所) 深センの中国の特色ある社会主義先行モデルエリア建設の支援に関する意見

具体的な実施内容として、分野ごとに16項目が示されている。イノベーションでは、第5世代移動通信システム(5G)、人工知能(AI)、サイバースペース科学・技術、バイオ情報、バイオ医薬などの分野で新たな担い手の設立を支援し、国際科学技術情報センターや、新たなメカニズムを持つ医学科学院の建設を模索する。

金融では、デジタル通貨の研究や、モバイル決済などのイノベティブな活用を支援する。また、香港・マカオの金融市場との相互連携、金融製品の相互認証を進める。人民元の国際化についても全国に先駆けた試みを行い、クロスボーダーでの金融監督・管理制度のイノベーションを模索する。国際海洋開発銀行の設立も検討する。

文化・観光では、クルーズ船ターミナルの建設や、香港・マカオとのデジタルクリエイティブ産業での協力を目指す。深セン市におけるイノベーション・クリエイティブデザイン学院の建設や、国際的な賞の創設などが盛り込まれた。

広東・香港・マカオグレーターベイエリアについては、深セン・香港科学技術イノベーション協力区の建設を推進し、共同開発モデル、イノベーション科学技術管理メカニズムを模索。人材、資金、技術、情報などの効率的な流動を促進する。

そのほか、海洋都市としての発展や、ビッグデータ活用による社会管理の強化などが盛り込まれた。

【出所：ジェトロ ビジネス短信 2019年8月26日】

本稿は閲覧される方のご判断・責任においてご利用下さい。

可能な限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本稿で提供した内容に関連して、利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、会員企業サポート室及びジェトロは一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

